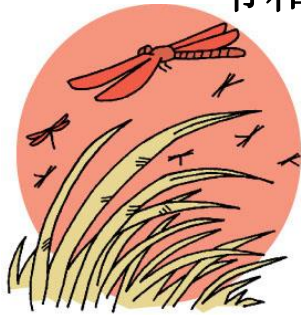


# 令和4年度 9月の補導活動



佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	11回
2	延べ従事補導委員数	16人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	106人

## 9月の補導日誌から

9月1日(木) 学校訪問(地球環境高校)

専門補導委員 記

### 概要

新型コロナウイルス感染症がまん延しており専門補導委員3名で訪問しました。教頭先生から教育目標や生徒の様子等についてお話していただきました。当校は、不登校や対人関係で悩んだ経験のある生徒が多いとのことで、コミュニケーション能力の向上やアイデンティティーの確立を目指し、対人関係能力の育成等を重視して学校運営を行っているようです。通信制高校であるため、週1回の登校、希望によって週3回登校して授業を受けている生徒もいるとのこと。また、農業体験や学校周辺のごみ拾いなど地域との交流を行っているとのことでした。佐久市の本校のほかには飯田市と長野市に学習室があり、本校と同じカリキュラムであるが、週3日型スクーリングは行っていないとのことでした。

9月5日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター  
→ 曾根公園 → バッティングセンター → 平根児童館

### 補導の様子

9月を迎えた。一雨ごとに秋色が濃くなってきたと感じるが、外に出ると日差しはまだ夏影を残している。新学期が始まって、子どもたちの生活もそろそろ平静を取りもどすころだろうか。訪れたゲームセンターやネットカフェに人影はまばらである。児童、生徒の姿は見られない。曾根公園も閑散としていた。バッティングセンターは無人営業しており、インドアゴルフ場で2名の客がプレーしていた。平根児童館に近づくと、子ども達の歓声が聞こえてきた。楽しそうにボール遊びやままごと遊びをする子ども達を館長さんが見守っていた。お話をうかがうと、「木陰ができてから外で遊ばせるようにしている。親の迎えの最終は、7時頃になってしまう。コロナウイルス感染については、2回のワクチン接種を終えている子が多いものの、感染対策には細心の注意をはらっている」と話してくれた。スタッフの皆さんの日々のご苦勞をねぎらい、子ども達に別れを告げて館を後にした。



9月6日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 城山公園 → 大沢保育園 → 県民佐久運動広場 → 東田公園

→ 鍛冶屋公園 → 高柳公園 → 中嶋公園 → 原公園

#### 補導の様子

大沢保育園では、保護者と一緒に家路に向かう園児の姿があった。県民佐久運動広場の体育館は覆いによって中の様子は良く見えなかったが、建物のほとんどが解体されているのが垣間見えた。高柳公園では、未就学児が楽しそうに遊具で遊ぶ姿を見守る母親の姿があり、ほほえましい光景であった。原公園では、男女の高校生が東屋で勉強していた。声かけすると高校2年と高校1年の男女で、高2の男子生徒は英語、高1の女子生徒は数学の勉強をしていた。間もなく行われる試験のため、時間を惜しんで勉強しているとのことだった。明るく爽やかな高校生であった。本日は、野沢地区内の公園等を訪問したが、ほとんどの公園は利用者がおらず、新秋の穏やかな時が静かに流れていた。

9月9日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 三河田諏訪神社 → 千曲川スポーツ交流広場 → 高瀬小前  
→ 中佐都児童館前 → 赤岩公会堂 → 根々井団地内公園

#### 補導の様子

夏の暑さもかなりやわらぎ秋の風がさわやかに感じられる。「明日は、中秋の名月が見られるだろうか」と思いながら中佐都小、高瀬小の通学区の街頭補導を行った。普段あまり訪れない団地内の路地や小さな公園も巡回した。千曲川スポーツ交流広場では、マレットゴルフを楽しむ人たちに出会った。整備が行き届いたフィールドは、気持ちよさそうだった。野球道具を持った方に声かけすると、親子3人で練習に来たという。ここでなら思いきり練習ができそうだ。下校途中の子どもたちを見かけたが、外で遊んでいる子どもたちには出会わなかった。高瀬小学校前を通りかかると、テントが張られ運動会の準備が進められていた。

9月12日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 県民佐久運動広場 → 野沢南高正門前 → 野沢児童館  
→ 中嶋公園 → 城山公園

#### 補導の様子

野沢小の下校時刻と野沢南高の下校時刻がちょうど重なり、県民佐久運動広場に駐車すると、大勢の子どもたちがあいさつしてくれた。野沢児童館では、館長さんからお話をうかがうことができた。第7波で佐久圏域でもコロナの感染者が増え、夏休みごろから児童館利用者は60人程に減っているという。しかし、感染対策にはかなり神経を使っている様子が伝わってきた。中嶋公園では、ベンチで話をしていた女子高校生2名に話を聞いた。弓道の新人戦が迫っているが、その前に定期テストがあるので練習ができないと、落ち着かない心境を話してくれた。学校生活は、コロナウイルス感染対策をしながら正常に近づきつつあるという。どちらも全力でがんばってと励まして別れた。城山公園は、かなりの賑わいで、親子連れや小学生が30人以上利用していた。

9月13日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 平賀新町公園 → 横町公園 → 成田公園 → 橋場公園  
→ 成知公園 → 佐太夫町公園 → 佐久総合運動公園

## 補導の様子

平賀新町公園・横町公園・成田公園・佐太夫町公園には来園者がいなかった。橋場公園では、昔の遊び『だるまさんが転んだ』をやっている男子小学生が3名。成知公園では、母と子の親子3組が来園、母親が『ママ友』とのことで子どもたちの遊ぶ姿を見ながら話をしていた。佐久総合運動公園のサッカー場に同じユニフォームを着た小さな子どもが指導者の話を真剣に聞いていた。そばにいた母親に聞くと、「年中児から小学校2年生までの子どもで、いつもは駒場公園で練習しているが、今日は人工芝のサッカー場での初練習」とのこと。また、近くには虫捕り網を持った小学生がおり、声かけすると「トノサマバッタを捕まえている。ミヤマアカネも捕まえたよ」と嬉しそうに話してくれた。昔の懐かしい遊び、チームスポーツ、昆虫採集に興じる少年に出会い、すくすくと成長してほしいと心が温かくなった街頭補導だった。

9月14日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 大型書店 → 城山公園 → 原公園 → 中嶋公園

## 補導の様子

黄金の稲田を真夏のような太陽がじりじり照らしている。熱中症情報は、嚴重警戒レベルである。それでも、日陰に入ると多少暑さをしのぐことができる。まず、大型書店に立ち寄る。入口には万引防犯強化指定店ステッカーが貼られている。店長さんは、「単独での子どもの来店は少なめで、特に問題はない」と話してくれた。城山公園には、多くの小学生や親子連れの姿が見られた。四阿で算数や漢字の宿題をやっていた4人の小学生に話を聞くと、宿題を済ませてから遊ぶのだという。また、バットを持った6年生は、少年野球クラブで全国大会に出場したという。「学校でも人気者だね」と尋ねると、にっこり笑って首を傾げた。原公園には大きな補虫網で虫を追いかける少年がいた。話しかけるのがはばかりれるほど熱心だったので、遠くからながめていた。木陰に置かれた虫かごの中に目をやると、コオロギが1匹せわしく動いていた。中嶋公園に子どもの姿はなく、犬の散歩をする人や木陰で読書をする人など、数名のおとなが見られた。日が傾き始めた公園の芝生には、まだ夏の余韻が感じられた。

9月16日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 新子田諏訪神社 → 駒場北公園 → ひよこ公園 → 紅雲台公園  
→ 鼻顔公園 → 円満寺

## 補導の様子

東地区内の公園や寺社を訪問しながら小中学校の通学路を重点に街頭補導を実施した。これまでも何度か訪問し、利用する子どもの多い新子田諏訪神社を訪問した。神社の境内にいた女子児童2名に声かけした。とても明るい児童で元気よく応対してくれた。2人は、小学3年生で、下校後、帰宅してから公園に遊びに来たと話してくれた。少年が被害者となった事例を説明しながら、「イカノオスシという言葉知っている？」と質問すると、一人は素直に「イカノの『イカ』は知らない人についていか（イカ）ない。イカノの『ノ』は知らない人の車に乗らない。・・・」等と答えてくれた。もう一人の児童は、自分なりの言葉で楽しそうにイカノオスシについて説明してくれた。「イカノオスシを忘れずにね」と話し児童と別れた。自動車で神社を離れようとしたところ、道路

わきの畑内にオスの雉が 1 羽。その近くに未就学児とその母親が立ち止まって雉の様子を見守っていた。母親は「雉は、時々やってきます」と教えてくれた。自然豊かな地域に住み、遊び、学び、すくすくと育ててほしいと思った。

9月20日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 浅間地区及び中込地区内の地下道・歩道橋（9か所）及び公園（市民交流ひろば・ミレニアムパーク・久保田公園・若宮児童公園）

#### 補導の様子

落書きやごみの不法投棄事案はここ数年減少傾向にあるが、過去の街頭補導の記録を確認したところ、人目につきにくい地下道や歩道橋における「落書き」「電灯の破損」「吸い殻がらの投げ捨て」「ゴミの投棄」等に関する記載があった。通常の街頭補導活動で立ち寄り確認したりする機会が少ない地下道と歩道橋の現状確認を実施した。確認箇所は地下道7か所（市役所東、駒場公園入口交差点、浅間中西、ミレニアムパーク、裁判所東、フレスポ北、仙祿湖北）と歩道橋2か所（佐久郵便局前、ヤマダ電機前）の9か所。確認した9か所すべての地下道と歩道橋に落書きはなかった。2か所の地下道にゴミが落ちていたが、タバコの空き箱が1つとプラスチック製のコップが1つ落ちていたのみであった。以前と比較して公共マナーの意識が向上していると感じた。市民交流ひろばには、小さな子ども連れの親子が大勢来園し遊具で遊んでいたが、他の公園には人影はなかった。

9月22日(木) 学校訪問(望月中学校)

専門補導委員 記

#### 概要

新型コロナウイルス感染症の感染レベルが『5』のため、地域選出の補導委員の皆さまにはご遠慮いただき、専門補導委員のみで望月中学校を訪問しました。教頭先生と生徒指導主事の先生から生徒の様子等をお聞きし、また、専門補導委員からは、巡回補導活動中に触れ合った生徒の様子などをお伝えしました。反社会的な行動をする生徒はいないが、どこの学校でもあるように、『クラスに馴染めない、不登校、ゲームで生活リズムが反転傾向になっている』生徒がいるとのことでした。これら諸問題に対し、兆しの早期把握、担任だけでなく全教職員、場合によっては他機関との連携により、早期対応を行っているとのことでした。現在、文化祭開催に向け全校生徒が一生懸命頑張っているとお話もお聞きしました。教頭先生が「これまでは感染症防止のため合唱ができなかったが、昨日久しぶりの生徒の歌声に胸が震えました」とおっしゃった言葉が印象的でした。

9月26日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 市民交流ひろば → 佐久平交流センター → ミレニアムパーク  
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

#### 補導の様子

市民交流ひろばは、20組以上の親子連れで賑わっていた。1組に話しかけると幼稚園が終わった後、ここでひと遊びしてから帰るといふ。とても利用しやすいそうだ。ただ気になったのは、普段きれいな公園内のベンチの1つに煙草の吸殻が4、5本落ちていた。四阿で過ごしている女子高校生2名に声をかけると、高校2年生と3年生で、音楽大学に入って将来は音楽を生かした職業に

就きたいと抱負を話してくれた。ミレニアムパークのプレイサークルには利用者はいなかった。きれいに片付いていたが、コーンが2つ壊れて置いてあるのが気になった。ゲームコーナーは、小学生が保護者と一緒に数組訪れていたが混みあってはいなかった。お店の方に話を聞くと、平日はいつもこのくらいだと話してくれた。

9月27日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 下の宮公園 → 臼田警部交番 → 稲荷山公園 → 臼田駅 → 下越公園  
**補導の様子**

下の宮公園を訪問したところ、今日は珍しく誰もおらず閑散としていた。普段は、大勢の児童や未就学児でにぎわっていること多い公園であるが、いつもとは違う景色だった。全く揺れることのないブランコ、子どもたちの楽しそうな声を黙って聞いているケヤキの大木も寂しいだろうと勝手に思い、次の場所へと向かった。臼田警部交番で交番所長に臼田地域における最近の犯罪や少年非行の状況をお聞きした。大きな犯罪の発生はなく、少年非行事案もほとんどないとのことではあった。地域の安全のため昼夜頑張っておられる警察官に激励と謝意を述べ、交番を後にした。稲荷山公園のコスモタワー・殉職慰霊碑・稲荷神社・マレットゴルフ場等公園内を一周したが、犬を連れた夫婦が散歩している他に人影はなかった。帰路の途中、臼田駅と下越公園に立ち寄ったが、ここにも人影はなかった。

9月28日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 成知公園 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園  
→ 成田公園

**補導の様子**

鉛色の雲が低く立ち込めている。幾つか旧市街の青少年健全育成協力店を回った後、中込方面の街頭補導に向かった。新しくオープンしたショッピングモールの駐車場は、平日にもかかわらず空きスペースを探すのが難しいほど混んでいるように見える。水曜日は、定例の職員会議がある学校も多く、子ども達の下校時刻が早い。成知公園には、20名ほどの子どもが思い思いに遊んでいた。蒸気機関車の展示場は、珍しく開放されており、数名の子どもが興味深そうに運転室の機械を眺めていた。孫と訪れたという女性が、鍵を開けて見学の子も達を見守ってくれていた。楽しそうに話していた4人の女子児童に話しかけてみた。6年生だという彼女達は、懇談会で学校が早く終わり、この公園を訪れたという。気が置けない仲間で話すのがこの上なく楽しい時間だという。平賀新町公園、水上公園、橋場公園、成田公園に人影はない。堤の狭い歩道で、車を止めて数名の女子中学生をやり過ごした。軽く会釈をして足早に帰路を急ぐ後姿を、車窓から見送った。

9月29日(木) 学校訪問(中込小学校)

専門補導委員 記

**概要**

教頭先生より学校の様子や課題についてお話をうかがった。「考えて、ひびきあって、動ける子どもを重点に教育活動を推進しており、全体的に落ち着いた生活を送れている。現在までのところ、コロナ感染症による学級閉鎖はない。

学校行事も予定通りで、5月の運動会、11月に予定されている音楽会も予定通りに行う。修学旅行は10月19日、20日に東京へ行く予定で準備を進めている。運動会では、子ども達がテーマや種目を決めて実施した。高学年が低学年の面倒をしっかりと見てくれて、円滑な運営ができた。修学旅行でも、児童が自分たちで行く場所を調べ、プレゼンを行い、行く方面や場所を決めた。課題としては、ヘルメットを着用しない児童が高学年に見られることや、地域の方々への挨拶の声が小さいことである。また、公園や店で暗くなるまで遊んでいて、帰宅が遅くなる児童が見られる。様々な家庭環境下で、保護者の目が行き届かない児童も少なくない。」と話された。

9月30日(木) 学校訪問(臼田中学校)

専門補導委員 記

**概 要**

教頭先生と生徒指導主事の先生から学校教育目標、生徒の様子、地域との連携等について、ていねいな説明をしていただきました。「学校教育目標は『信頼される人になる』で、『なりたい自分を持ち、生徒も教師もなりたい自分になる努力を継続する』を日々実践することをモットーとしている。学習面では、落ち着いて授業に参加しており、部活動も盛んで県大会に出場した部も多かった。生徒指導上の大きな事案はないが、不登校傾向の生徒や家庭環境が心配な生徒がおり、スクールメンタルアドバイザー等の協力をいただき対応している。SNS関係でのトラブルもあるが、その都度詳しく事情を聞き解決している。このような事案防止のため、PTAや生徒向けの講演会の開催や長期休業前には注意喚起を行っている。7月には、京都・奈良への修学旅行も行われた」とのことでした。

**◀ 9月の補導を終わって 専門補導委員 ▶**

**【各地区補導委員の皆さまへ】**

佐久圏域のコロナウイルス感染症の感染警戒レベルが3となり、街頭補導活動は通常通り実施となっております。欠席する場合は、必ず事務局にご連絡ください。

感染警戒レベル	街頭補導活動の対応
5～6	中止(専門補導委員のみで実施)
4	実施(感染症が心配の方は、欠席されてもかまいません。欠席する場合は事務局にご連絡ください)
1～3	通常通り実施

【欠席の連絡先】 佐久市少年センター補導委員協議会事務局

生涯学習課 青少年係

電話：62-0671 (担当：中島、横井、清水、高橋)

**【重要】** 11月から、巡回時間が午後3時30分からとなります。また、学校訪問は、午後3時50分学校集合です。